

東部の窓 ～校長室だより～



豊川市立東部小学校
令和7年1月15日
←「東中おやじの会・校区の方
から寄贈のパンジーなど」

「学」と「習」 ～1月7日・3学期始業式の校長講話より～

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。
さて、この字（「学」）は何と読むかわかりますか？「学」の旧字体は右の字です。赤の○で囲んだ部分は差し出した「手」を表しています。左右にあるので、両手です。これは誰の手かという、教える立場の人の手を表しています。真ん中の「×」の二つは、交わることを意味しています。その下の「ワ」は家で、その下は「子」を表しています。ということは、「學」という字は、まるっきり学校ということを指しているように感じます。建物の中で、先生たちが子どもたちのみなさんが成長するように一生懸命手を差し出します。みなさんはそれにこたえようと、一生懸命交わろうとします。お互いの気持ちが重なり合ったときに、「学ぶ」ということが成り立つというわけです。



また、「学ぶ」は、「まねぶ」（真似ぶ）から転じたと言われていています。教える人のしていることをまねることが、学ぶことにつながるということです。

次に「習」の漢字の成り立ちも紹介します。これはある生き物を表した漢字です。分解してみると、なんとなくわかってきませんか。「羽」と「白」だと、どんな生き物を連想しますか？これは生まれたばかりの「ひな」を表します。どんな鳥も生まれたばかりは、まだ羽がしっかりしておらず、白っぽく見えます。成長するにしたがって、羽がしっかりしてきて色もついてきます。ひなは親鳥からえさをもらい、飛び立てるようになるまで巣で過ごします。そしてある程度成長すると、親鳥と一緒に空を飛ぶ練習をします。親鳥と一緒に飛ぶ練習を懸命にするとところから、「習」という漢字ができたそうです。

つまり「学習」とは、みなさんが先生の一つ一つの言葉や行動、教えてくれることに注目しながら、一生懸命まねて、「技」を身につけていくことなのです。でも、「学習」とは、「問題ができる」ということだけではありません。次のことも大切です。「あいさつや返事をする」「友達と仲良く、人とつながる」「めあてや目標に向かって努力する」「目の前のことから逃げない」など、こういったことも「学習」なのです。

いよいよ3学期がスタートしました。みなさん、一生懸命学びましょう。そして、次の学年に、6年生は次の学校にしっかり羽ばたいていけるように、一生懸命習っていきましょう。

3学期の合言葉は「学習」です。

「元日」と「元旦」 ～12月23日・2学期終業式の校長講話より～

これ（「元日」「元旦」）は何と読むかわかりますか？では「元日」と「元旦」のちがいはわかりますか？「元日」は1月1日、「元旦」は1月1日の朝のことを指します。なぜそういう意味になるかというと、「旦」の字にヒントが隠されています。

「旦」の下の横棒は何だと思えますか？実は、この横棒は「地平線」を表します。上の「日」は太陽を表しています。だから、「旦」はもともと、「朝」とか「夜明け」の意味があるのです。ちなみに年賀状に「元旦」と書くと、1月1日の朝に届いていないといけません。▼みなさんは「1年の計は、元旦にあり」という言葉を聞いたことがありますか？これは「その年になすべきことは『元旦』に計画を立てるべき」という意味です。新しい年になり、気持ちを新たに目標を立て、その目標を達成するために計画を立てる。これはみなさんにとってとても大切なことです。▼冬休みが終わると、いよいよ今の学年で最後の学期、3学期がスタートします。どんな3学期にして1年間を締めくくりたいと思えますか？3学期の終わりにどんな姿の自分になっていたいですか？4月からは新しい学年がスタートします。どんな1年にしたいですか？このように、自分自身の「ゴール」を思い浮かべながら、「元旦」に自分の目標や計画を立ててほしいと思えます。



【元気に校歌を歌う
子どもたち(3学期始業式)】

←2学期末にはこのような話を子どもたちにしました。子どもたちは年始に自分なりのめあてや目標を考え、気持ちを新たに新学期を迎えています。どうぞご家庭で、そして地域でも子どもたちを励まし、温かく見守っていただけると幸いです。



善行児童表彰おめでとう

1月6日、鈴木琴（6年）さんが、豊川市ライオンズクラブから表彰を受けました。おめでとうございます。琴さんは、人柄がすばらしく、日ごろから学校の諸活動においてリーダーシップを発揮しながら積極的に取り組む様子が見られます。人望も厚く、前期には児童会会長、後期には委員会の委員長も務めています。今後の更なる活躍を期待します。



児童会の取組「キラキラ東部小」2学期報告

児童会では令和2年度以降、「元気にあいさつ」「きれいにそうじ」「(学ぶ・遊ぶ・考える) 東部小スイッチ」を3本柱に、役員の呼びかけにより「キラキラ東部小」をめざした取組をしています。学期ごとに3本柱についてどの程度できているかのアンケート調査を行い、実態を把握しながら、よりよい学校にしようと工夫した運動に取り組んでいます。2学期は、12月17日のにこにこ集会の中で、報告会がありました。

2学期の調査では、学年によって多少の差はありましたが、全体的に「きれいにそうじ」については1学期に比べてよくやれているという結果でした。一方「元気にあいさつ」「東部小スイッチ」については若干減少しており、課題が残りました。以下は、児童会長・城田心暖さんのまとめの言葉です。「この『キラキラ東部小』の2学期報告を聞いて、みなさんはどう思いましたか。ただ達成できた、できなかったというように他人事として捉えず、どうしてこのような結果になったのか、これからどんなことを意識して生活していくとよいのかと、自分で具体的な目標をもって過ごしていきましょう。3学期には、自分の目標に向かって行動していき、その結果が3学期のアンケートに現れてくることを楽しみにしています。」

心暖さんの言葉のように、「キラキラ東部小」3本柱の内容を、自分事としてみんなで取り組んでいこうとする前向きな姿に、大きな期待感をもつことができました。



東部っ子・フォトギャラリー

笑顔があふれる東部っ子の活動を紹介！(OSA.T)

